



農業×ANY=HAPPY



m2Labo.
AGRI INNOVATION

m²
Solution.

課題解決から、事業創造会社へ



アグリテック

Mobile Mover

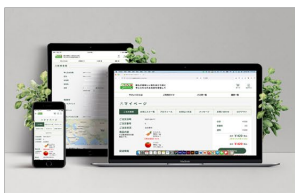


Mobile Mover
屋外用ロボット台車



フードウォール
どこでも栽培/販売

デザイン



UI/UX
サービスデザイン
ITシステム開発
WEBデザイン



2D/3Dデザイン

創出事業

流通



やさいバス (株)
地域OS

人材育成



Glocal
Design
School



Glocal Design School (株)
起業家育プログラム

生産



**ベジラボ
ニラ**



ニンジャトンネル
超低コストハウス

誰もが“おいしい”食にアクセスできる社会を目指して

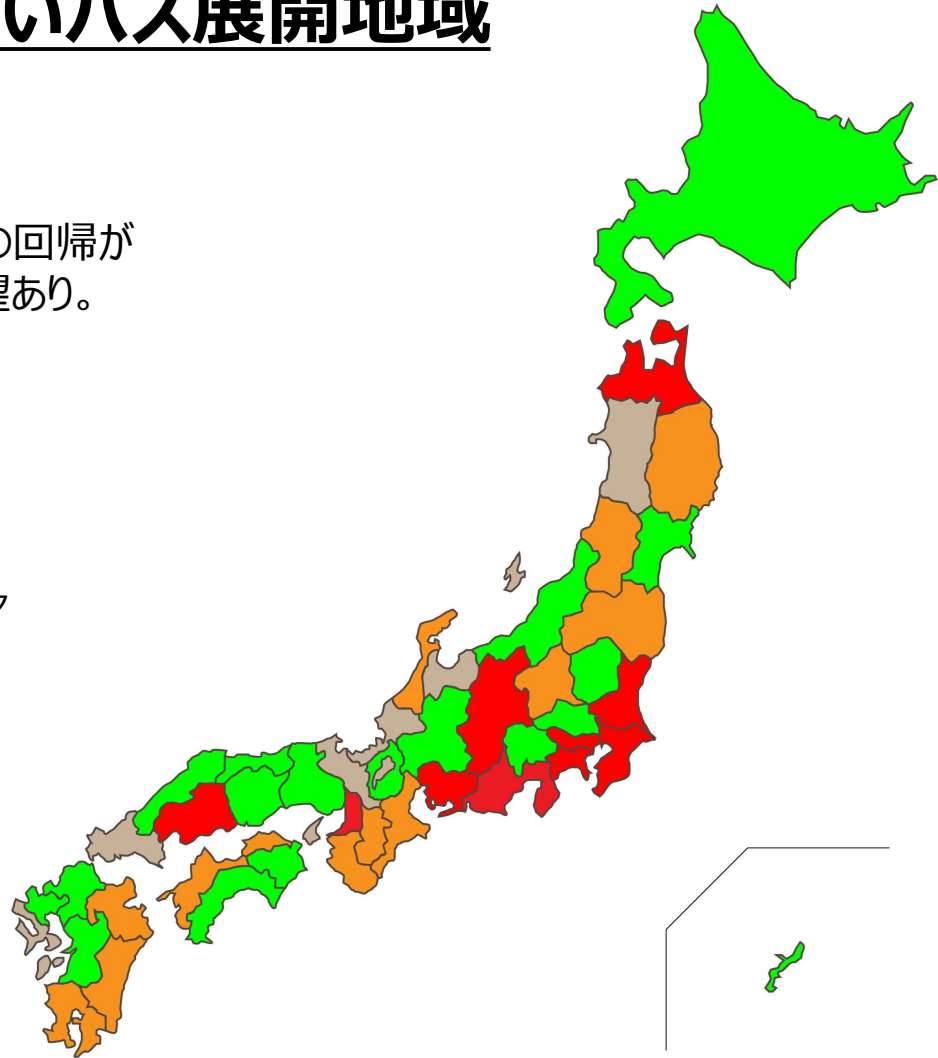


・HAKUHODO・A-FIVE

やさいバス展開地域

コロナの影響で、「地域内循環」への回帰が進んでおり、全国各地より展開要望あり。

-  展開済エリア
-  立ち上げ準備中エリア
-  問い合わせありエリア



一般社団法人デジタル田園都市国家構想応援団 協業いただいています。
チャレンジする企業・個人を支援するインフォーマル産官学民ネットワーキンググループ

DXでCN対策、フードロス削減に挑戦中

瀬戸内レモン

100円 (税込)



35 km



誰もが”美味しい”を手に入れらる社会を目指して

ラベルの「運搬距離」は、出荷者の最寄のバス停から、ここまでの距離を示しています。できる限り地域の、近くの生産者に
出品いただくことで **CO2削減** に貢献していきます。

市場DX

**市場が公設でなくなることは、学校がすべて私立になるようなこと。
公設市場は「誰もがおいしい食を手に入れられる社会をめざす」ために必須です。**

■ 公設市場の役割

命を預かる食の需給調整弁としての市場は、①**物流センター** ②**金融** ③**情報センター** 機能から構成されます。旧態依然の市場では、③の機能が仕組化しておらず、人材難、“公平な分配”という主たる役割を果たせなくなっていることが、市場の弱体化の主要因です。市民の食を守るためにも、旧態依然とした運営体制の構造改革が必須です。

■ 情報センター機能

静岡中央卸売市場の立地は、新東名、中部横断道、そして、近接する清水港の戦略港化という好立地。“情報センター”としての機能を構築し、物流としては山梨、長野、新潟の縦ラインと連携した構造改革をしていきます。

■ 市民と共創

行政、市場関係者だけが改革するのではなく、市民も一緒に「食」について語り、カイゼンしていくチームづくりをしています。

ロボットだってCommunityで



×



×

Community

SmartCommunityのOS

農は社会基盤産業
ゆえに、コミュニティづくりの基礎に必須です。

無理なく

かね、時間、気持ちに無理なく

楽しく

日常をわくわくしながら

おいしく

安全でおいしい食をつくり、手に入れ食す

①DXは課題共有から

課題を共有できる安全な
場所が必要

『場』に対してサポートを！
スーパーマンがいるだけは好事例ではなく、
各地域や各課題を共有できる安全な場が
つくれるかがポイント。首長の理解と行動は
必須。

例) やさいバス
“生鮮物流”という共通課題を掲げ、チーム
アップ

課題の解決手順

具体的な課題を設定



解決の仮説を構築



仮説を実行するチームづくり



仮説を実証しながら確度を向上



目的・目標を明確にし、PDCA

②生活を中心としたデザインが大事

コミュニティベースド

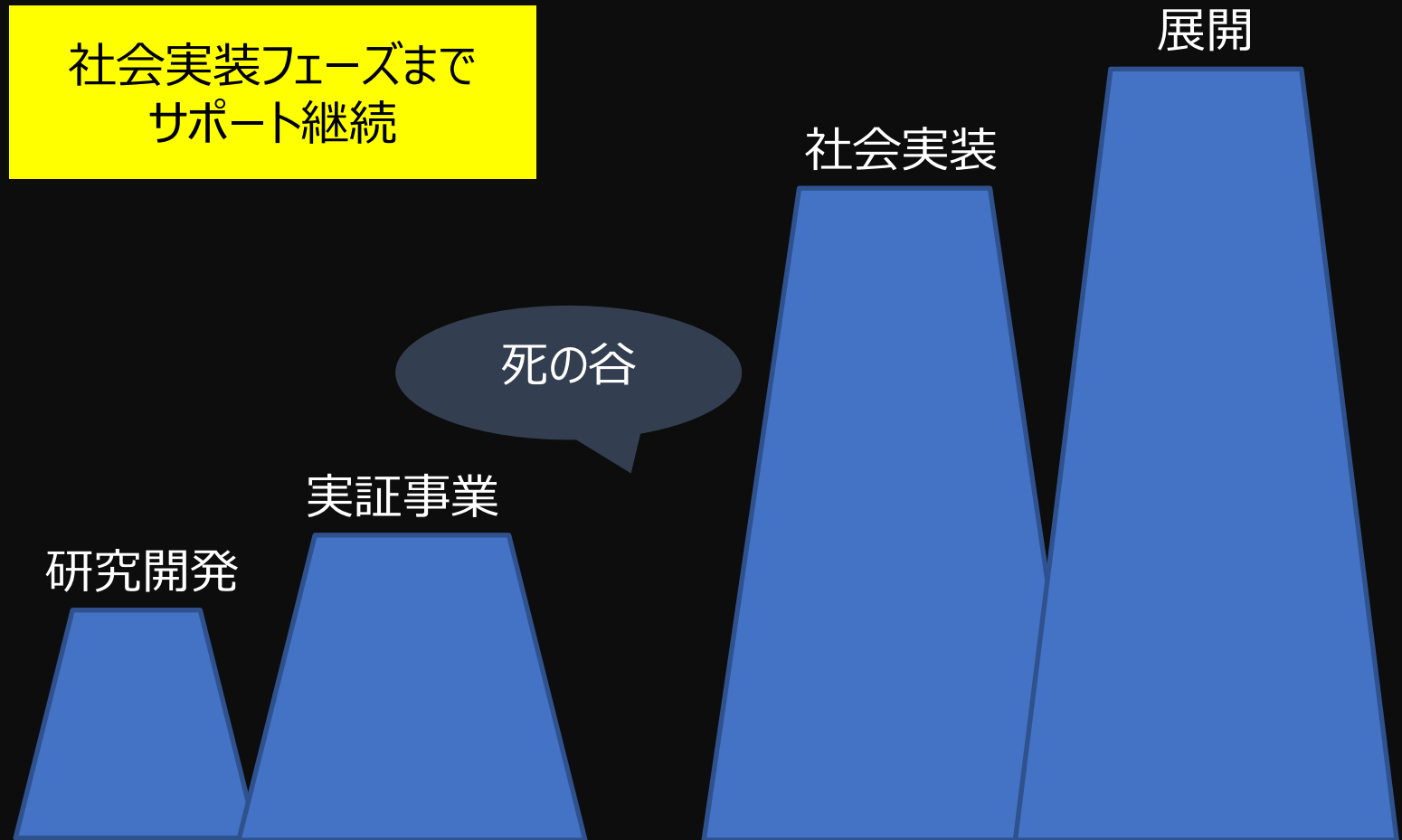
政府・地域行政・大企業が先導しては上手くいかない。

なぜか？

組織の性質上、生活は常に変化しているにもかかわらず、その時の答えを用意してしまう。

そして、技術の進化で、つくる人とつかう人の界はあいまいになっており、個人やコミュニティに委任し、サポートすべき。

③サポートは社会実装まで



社会課題解決型事業 死の谷を越えるポイント

- 1) 資金の出どころ 政府→民間へと徐々に、越えるまで
- 2) 時間＝仕事の考え方では越えられない
- 3) 課題の芯＝共感者が多いか